

マゴソ通信



ケニアも日本も残念ながらコロナ禍の真っ只中と言う状況で、特にケニアでは再びロックダウンとなり、学校も閉じています(5/10に3学期を再開できるとの情報)。言わずもがな、マゴソスクールのあるケベラスラムの状況は、コロナの蔓延のみならず、失業など経済状況の悪化も著しいようで、マゴソスクールで続けている給食の配布にやってくる子どもたちの数がどんどん増え、大人たちも食を求めてやってくるようになっていきます。家庭訪問、食品配布も含めて、奮闘するマゴソスクールのスタッフ、手伝ってくれるOBOGたちの様子は早川千晶さんがFacebookライブなどで次々と送ってくれていますので、機会があればご覧になってください。

その費用の大半は皆様からのご寄付によりますが、増えていく食品提供量に併せて、一層のご協力をお願いせざるを得ません。早川さんやその他の方々の呼びかけで給食募金箱の設置を申し込んでくださる方が増えておりますこと、感謝しております。お店や事業所、学校や施設など設置して下さる所を引き続き募集しておりますので、マゴソスクールを支える会ホームページ(<http://magoso.jp/support/donationbox>)より申し込みください。尚、募金箱は「家内制手工業」による手作りですので、お届けまでに少し時間を頂戴することがございますことをご了承ください。

もう一つお願いしたいこと。今年も多くの卒業生が高校進学のための試験を受けました。校舎の建て替えや給食、また先生として多くのOBOGがマゴソスクールのために力を寄せ、また外からマゴソスクールを支援してくれるOBOGたちも心強い存在です。日本に留学していたアグネスも無事卒業し、日本で働くためにインターシップをしながら準備してくれています。この様にマゴソスクールにとって卒業生は宝です。今回卒業した子どもたちが一人でも多く進学の機会を獲得できる様に、支える会を通じて、あるいは個人的にご支援をお願いします(<http://magoso.jp/support/scholarship>)。

そして、間もなく早川千晶さんの来日、全国ツアーが始まります。マゴソスクールのことではなく様々な話題を語ってくださる場もたくさんありますが、全てのことはつながりがあって、みんなが幸せになっていくことが必要です。ぜひ機会を見つけてご参加ください。支える会の運営委員が参加する会場もたくさんございます。皆様とお目にかかれることを心待ちにしております。

皆様も健康に御留意の上、心は密にマゴソスクールに寄せていただく様、お願い申し上げます。

会長 大城研司

支える会からのお知らせとお願い

- 2021年4月現在のサポーター数は411名です。
- ご友人等にご紹介のため、パンフレット・会報等が入用の場合は事務局までご連絡ください。
- 会報は、会員の方、アンケートに答えてくださった方、名刺を頂戴した方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方、皆様に送らせていただいております。会報が重複して届いていたり、不要な場合は、事務局までお知らせいただければありがたく思います。
- 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- 会費の領収書は発行していませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。専従スタッフがおられませんため、ご寄付のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- マゴソスクールへの支援物資は、支える会では受け付けておりません。

会費・寄付振込先

【郵便局】マゴソスクールを支える会

口座番号: 00810-9-216335

(記号: 00810 番号: 216335)

【ゆうちょ銀行】マゴソスクールを支える会

0八九(ゼロハチキュウ)店

当座 0216335



マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1

Mail: info@magoso.jp HP: <http://magoso.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/magososupportersclub/>

OBOG つながる未来へ

1999年に始まったマゴスクール。この3月に第14期(ジェネレーション14)の卒業生を送り出しました。卒業生(OBOG)たちは、セカンダリースクールに進学し、その後、大学生、社会人としてそれぞれの人生を歩んでいます。卒業後の彼らの人生にも、マゴスクールはかかわり続けています。月1回(各学期の休みの時期のこともある)のOBOGミーティングでは、各自がそれぞれの問題や今後の課題や目標などじっくりと語り合い、早川さん、リアンさん、オギラ先生、ダン先生、上級生がアドバイスをし、個人面談が必要な人にはその時間を設けるなどの丁寧な取り組みを行っています。このように、マゴスクールは単に幼稚園・小学校教育にとどまらず、彼らの人生を手助けする学校であり、また、その取り組みの結果、彼らがマゴソや困っている人を助ける存在になってきています。

1. KCPE と KCSE

13号で補習授業を受けていることをお知らせしましたが、KCPE(プライマリースクール卒業時の全国統一試験)は3月22日から24日まで行われ、4月15日に結果が発表されました。マゴスクール58名、ジュンバラワトト9名、合計67名の受験生です。この受験に先立って、マゴスクールでは、卒業生のためのお祈りの集会(日本の卒業式に近い)が行われました。

受験結果が出た卒業生たちは、これから高校進学のための準備をしていきます。早川さん、ダン校長先生たちが家庭状況の調査、家庭訪問、生徒たちと保護者との面談などをし、入学できる高校の選定、スポンサー探しが始まりました。

KCSE(セカンダリースクール卒業時の全国統一試験)は3月26日に開始し、4月21日まで約一カ月間続きました。



実質の大学受験であり、この得点で行ける大学ばかりでなく、行ける学部まで決まってしまうのです。自費生徒たちも含め、数多くの卒業生が受験にチャレンジしています。日本からの支援を受けている生徒たちは5人です。結果は5月8日に発表される予定です。

2. マゴスクールは子供たちの将来につながっていく

(1) オティソ先生

マゴスクール卒業後、キベラスラムの高校で学び、キシイ大学に進学。大学生時代からマゴソでボランティアとして教え始め、高校教員(理数科教師)の国家資格を取得してからマゴスクールに帰ってきて正式な先生に!

(2) ジョンソン君

国立ケニアッタ大学商学部2年生。補習に来てくれています。彼は、将来、マゴスクールの財政管理をし、マゴスクールの発展させたいと考えています。大学で日本語の勉強もしていて、いつか日本にも行きたいそうです。



最強チーム。Magoso OBOG club Pioneers!

ダン校長、オギラ教頭、

卒業生で大学卒業してマゴスクールで働いてくれているワマルアとオティソ、

現役大学生でマゴスクールで教えているジョンソン、ジョン、コスマス。

マゴソ OBOG クラブの高校生たちのメンター

(3) トニー君

13号でジェルサレマチャレンジを紹介しましたが、彼は、ナイロビのカワングワレという地域の路上生活者たちへの食糧支援とカウンセリングの活動を友人たちとしています。様々な問題を抱える一人一人に彼らが丁寧に話を聞き、相談に乗っています。トニー君は自分も路上生活の子供だったから、彼らの状況が痛いほどわかり、誰よりも親身になれるのです。自分が稼いだお金で始めて、少し寄付してくれる人も出てきて、コロナ禍がはじまってからは週に3回行ってきたそうです。食料を単に配るだけでなく、トニー君たちがみんなに話をして、一緒に歌うことをしているのだそうです。

トニー君は彼らにまずは食料、それからドラッグリハビリ、そして、彼らがまともな暮らしに落ち着けるよう、仕事を得られる方法を作りたいと考えています。



早川さんからのメッセージ

かけがえのない高校生活、これが彼らの人生の境目でもある。ここから先の人生を飛躍できるか、貧しいままで恵まれず過ごすか、ある意味、高校時代の頑張りがシビアに大きく影響する。その競争社会の厳しさは、もしかしたら日本よりもっとシビアかもしれない。だから余計に、しんどくても踏ん張って頑張りたい。

彼ら一人一人の家庭環境も、どんな苦勞をしてきたかもよく知っている。人生は本当に楽じゃないけど、苦勞しながらも切り拓いていく力強さをマゴソ OBOG たちの姿から感じる。あきらめず、貪欲に、高みを目指してほしい。

マゴソニュース

早川さんは Facebook でマゴソライブをやっています。そんな中から、マゴソスクールにまつわるいろんなお話を紹介！

1. 給食継続中

マゴソスクールは朝と昼の給食を近所の子どもたちにも提供し続けます。現在、校内で食べてもらうことはできないので、容器を持ってきてもらって、家に持って帰ってもらっています。

早川さんからのメッセージ

「お腹がすいている子どもたちに、お腹いっぱい食べさせてあげたい。その想いで給食を始めたのは 1999 年のことで、あれから 22 年。ケニアだって時代が変わったけど、腹をすかせた子どもたちの数は減らない。いや、むしろ増えている。本当にひもじくて困っていた時に、食べ物もらった思い出は、その子供にいつまでも残る。キベラスラムの中を歩くと、もう大人になった若者たちが挨拶してきて、マゴソで教えてもらった、マゴソで給食を食べたと話しかけてくる人がたくさんいる。あのお腹が空いていた子ども時代に、マゴソで給食を食べて子どもたちが生き抜くことが出来て、本当によかったとつくづく思う。そしてこれからも、給食はとにかく続けたい。給食募金箱を預かってくれていつも応援してくれている皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。」

マゴソ給食募金箱の活動に興味がある方は、支える会の HP を見て連絡してください。よろしくお願いします。」



2. 図書室完成

前回の会報では、未完成だった図書室が完成。音楽大会のトロフィーを飾る棚も完成。大型のモニターも設置されています。図書室のスタッフも 2 名。うち 1 名はマゴソ OBOG の女性。

3. マゴソスクールの壁画

ミヤケンさんの壁画以外にも、マゴソスクールの壁にはたくさんの絵が描かれています。これらは、スラム在住のオチエンさんがボランティアで描いてくれています。彼は、何も見ず、下絵もなしで描くのです。教頭先生（オギラ先生）の部屋の前にはシマウマ、校長先生（ダン先生）の部屋の前にはライオンが描かれています。



4. ID カード

ケニアでは、18 歳になると、ID カード持たなければならず、不携帯の場合は逮捕されるのだそうです。これを持つためには、出生証明書、両親の ID、両親が亡くなっている場合はその死亡証明書が必要。マゴソの子供たち、特に両親のいない子供たちは、これを得るのはなかなか大変。場合によっては、両親の出生地に行かないといけないし、それでもすぐにはわかるわけではない。マゴソスクールではこういったことも含めて、セカンダリーを卒業する彼らに、アドバイス、手助けをし、自立した社会人になれるようにしているのです。

5. マゴソストリートはいい感じ

強制撤去は、マゴソスクールにとって大変なことでした。みなさまのご協力のおかげで、校舎の改築を行え、以前よりも充実した、整った環境のもと子供たちは学校生活を受けることができます。そして、もう一つ、マゴソスクールの前の通りが広くなりました。以前は迷路のようなところを通り抜け、たどり着くという感じでしたが、広い通りは子供たちの遊び場になったり、いろいろなお店ができたりで、にぎわっています。



2020年 会 計 報 告

【日本側の収支報告】

自 2020年 1月 1日 至 2020年 12月 31日

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部			
年 月	項 目	金 額	年 月	項 目	金 額	備 考
2020/01	前年度繰越	7,170,275	2020/01	ケニアへ送金	4,525,219	
2020/01	1月入金額(会費+寄付)	1,349,342	2020/01	OBOG奨学金送金	11,100	
2020/02	2月入金額(会費+寄付)	685,620	2020/03	ケニアへ送金	2,874,295	
2020/03	3月入金額(会費+寄付)	2,960,491	2020/05	ケニアへ送金	1,687,665	
2020/04	4月入金額(会費+寄付)	4,533,470	2020/08	ケニアへ送金	2,903,289	
2020/05	5月入金額(会費+寄付)	5,423,146	2020/09	ケニアへ送金	3,863,366	
2020/06	6月入金額(会費+寄付)	2,921,588	2020/10	ケニアへ送金	3,881,848	
2020/07	7月入金額(会費+寄付)	1,645,536	2020/11	ケニアへ送金	1,896,838	
2020/08	8月入金額(会費+寄付)	837,681	2020/12	ケニアへ送金	2,828,818	
2020/09	9月入金額(会費+寄付)	1,249,996	2020/12	OBOG奨学金送金	1,159,000	
2020/10	10月入金額(会費+寄付)	1,663,001	2020/12	パソコン購入費	102,000	
2020/11	11月入金額(会費+寄付)	1,045,442	小 計		25,757,878	
2020/12	12月入金額(会費+寄付)	1,541,311	次 年 繰 越		7,269,021	
合 計		33,026,899	合 計		33,026,899	

【日本側収入の内訳】

(単位:円)

項 目	金 額
収入	
前年度繰越	7,170,275
会費	6,014,169
一般寄付	10,821,189
団体寄付	2,000,000
給食募金	1,121,618
給食募金(募金箱)	284,853
キベラ食料支援	4,423,403
特別学級支援	240,000
クリスマス寄付	242,356
音楽大会寄付	50,000
OBOG支援	659,000
利子	36
総収入	33,026,899

(単位:ケニアシリング)

項 目	金 額
収入	
給食募金	46,375

【ケニア側の収支報告】

自 2020年 1月 1日 至 2020年 12月 31日

(単位:ケニアシリング)

収 入 の 部			支 出 の 部			
年 月	項 目	金 額	項 目	金 額	備 考	
2020/01	前年度繰越金	-272,494	マゴソ職員給料	4,791,520		
2020/01	支える会から送金	3,910,643	マゴソ給食費	1,699,300		
2020/03	支える会から送金	2,686,705	マゴソファミリー生活費	1,099,891		
2020/04	現地での募金	11,400	ジュンバラワトト経費	1,223,280		
2020/05	支える会から送金	1,617,184	クリスマス	231,134		
2020/05	現地での募金	28,000	マゴソ建設費	8,377,210		
2020/08	支える会から送金	2,913,152	ジュンバラワトト建設費	1,246,620		
2020/08	現地での募金	6,000	コロナ禍食料配布	3,657,156		
2020/09	支える会から送金	3,907,090	コロナ禍その他支援	596,199		
2020/10	支える会から送金	3,960,000	個別支援	397,924		
2020/11	支える会から送金	1,980,000	小 計		23,736,579	
2020/12	支える会から送金	2,970,000	次 年 繰 越		-18,899	
合 計		23,717,680	合 計		23,717,680	
					現地立替	



皆様からの会費やご寄付はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。早川さんの呼びかけに応じて未使用切手・はがき、書き損じはがきをお送りくださった皆様、本当にありがとうございました。5月5日現在、86,611円分のご寄付を頂きました。これらはすべて、会報14号の郵送料に使わせていただきました。今後よろしくお願いいたします。